平成29年度第2回 地域連携推進機構運営会議 議事要旨

日 時: 平成29年5月25日(木) 10:00~11:30

場 所:本部管理棟4階第1会議室

出席者: <u>須加原 一博</u> (議長 (機構長)), <u>屋 宏典</u> (副機構長 兼 産学官連携部門長), <u>背戸 博史</u> (地域連携企画室長), <u>遠藤 光男</u> (生涯学習推進部門長), <u>玉城 理</u> (産学官連携部門 専任教員), <u>小島 肇</u> (地域連携企画室 特命教員), <u>空閑 睦子</u> (生涯学習推進部門 特命教員), <u>糸数 温子</u> (生涯学習推進部門 特命教員), <u>瀬名波 出</u> (産学官連携部門 併任教員), <u>新田 早苗</u> (総合企画戦略部長), 金城 邦夫 (総合企画戦略部 地域連携推進課長)

途中退席: 宮里 大八 (地域連携企画室 特命教員), 島袋 亮道 (地域連携企画室 特命教員)

欠席者: 柴田 聡史(生涯学習推進部門 専任教員)

陪席者: <u>嘉目 克彦</u>(監事), 下地 孝之(総合企画戦略部 地域連携推進課 課長代理), 大城 光雄(総合企画戦略部 地域連携推進課 地域連携推進係長), <u>與儀 あゆみ</u>(総合企画戦略部 地域連携推進課 産学連携推進係長), <u>菅野 達之</u>(総合企画戦略部 地域連携推進課 課員), <u>仲嶺 天展</u>(総合企画戦略部 地域連携推進課 地域連携推進保員), <u>天願 翔太</u>(総合企画戦略部 地域連携推進課 産学連携推進保員)

※審議に先立ち、4月28日開催の平成29年度第1回運営会議議事要旨案について確認があり、了 承された。

<審議事項>

議長から、次の1つの事項について機構の今後の対応について審議を行う旨提案があり、各担当から説明の上、審議を行った。

1. 琉球大学交流人材センターの在り方について

須加原議長から、資料(審議1)に基づき交流人材センターに替わる新たなセンターの構想について説明があった。主な意見については以下のとおり。

- ・ 当該資料は「組織整備」の概算要求用に整理しているものだが、概算要求に通らずとも学長や福治事務局長の目利きに止まれば学内資源が寄せられるのでは、という見込みで作成している。「組織整備」として概算要求を行わない場合は、必ずしもこの新しい「センター」という形にこだわらなくても良く、重要なのは地域連携企画室の強化・充実である。従来から「交流人材センター」の構想は、今後は「交流人材バンク」という名称として検討していきたい。(新田 部長)
- ・ 現段階での代表的な取組のアイデアを「アイテム」としてポンチ絵にまとめているが、このような取組を毎年度「琉大地域貢献事業まつり(仮)」のようなシリーズものとして成果を可 視化して地域からの認知度を高め、運営交付金だけに頼るのではなく企業等からの協賛・資 金を得ていくイメージである。そのためには、外部からの案件や受託の相談を受ける専任教

員がいる総合窓口が必要、と説明すれば筋は通るのではないか。(新田 部長)

- ・ 人材バンクである限りは能動的に動けないため、そこから一歩踏み込んだ組織としての構想 である。概算要求に通らなくても、機構全体の機能強化を図っていくというこの方向性は維 持し続けるべきである。(須加原 議長)
- ・ 現在,地域連携企画室に所属している教員はそれぞれのプロジェクトを担当しているため, 現場の事業を持たず,全体を俯瞰する教員が少なくとも1名は必要である。(背戸 室長)
- ・ 機構全体,地域連携企画室,今回の新しいセンターという3つの機能や位置付けを整理して おかなければならないのではないか。(嘉目 監事)
- ・ 予算編成方針の中に「地域連携」の文言も入れてもらったので、経常的な予算を獲得していければ良い。機構の中で多くの成果を挙げているはずなので、上手く可視化し、アピールしていく必要がある。(屋 副機構長)
- ・ ポンチ絵における各アイテムに、各部局が主体的に参画できるような仕組みにしていかなければならない。(新田 部長)
- →各部局でどのような取組ができるのかを把握するため、「戦略的地域連携推進経費(仮)」 のような予算を創設し、各部局にエントリーしてもらう仕組みにできれば良い。(背戸 室長) 審議の結果、機構の機能強化については当該資料のとおりの方向性で進めていく、ということで原 案どおり了承された。

2. その他

宮里准教授から,机上配布(申請前につき要回収)資料に基づき「知的・産業クラスター支援ネットワーク強化事業(大学等研究者の学外連携促進)」の沖縄県への申請について説明があった。 審議の結果,原案どおり申請することで了承された。

<報告事項>

議長から、次の5つの事項について機構の現状の認識と情報の共有を図るため、各担当から報告を 行うよう発言があった。

- 1. アクティブ・シンクタンク事業の進捗状況について 宮里准教授, 島袋准教授から, 資料(報告1)に基づき当該事業の進捗状況について報告があった。
- 2. 平成29年度琉球大学ブランド商品開発事業の公募について 玉城准教授から、資料(報告2)に基づき当該事業の内容や公募開始について報告があった。
- 3. 研究成果有体物セミナーの開催について 屋部門長から、資料(報告3)に基づき当該セミナーの開催について報告があった。

4. 地域志向型リーダー育成プログラム 地域×大学 MGP14 宮古島を元気にするプロジェクト 募集について

遠藤部門長,空閑准教授から,資料(報告4)に基づき当該プロジェクトの募集について報告があった。

- 5. 各室・部門の当面の活動予定(主要事項)について
 - 各室・部門から、資料(報告5)に基づいてそれぞれ報告があり、以下のとおり補足があった。
 - ・ 前期中にCOC+における連携協定を,中城村,宜野湾市,西原町と締結予定である。(遠藤 部門長)